

人間福祉学部研究会主催

藤井美和教授

ADEC Academic Educator Award

受賞記念講演会

参加無料

3.14(土)

10:30~12:40

関西学院会館
光の間

(西宮市上ヶ原一番町 1-155)

ADEC (Association for Death Education and Counseling) は、死、死別、喪失、悲嘆といった人間存在の根源的課題に学術的および実践的に取り組む世界最大規模の国際学会の一つです。その中で死生学教育における指導力、教育プログラム開発、学術的業績、死生学の最新動向の把握と先進的な考えの発信などにおいて顕著な業績を残した教育者に授与される権威ある賞、Academic Educator Awardを関西学院大学人間福祉学部の藤井美和教授が日本人で初めて受賞されたことを記念し、受賞記念講演会を開催します。

講師

藤井 美和 教授

関西学院大学 人間福祉学部
(大学院人間福祉研究科) 教授



専門は、死生学/デス・エデュケーション、QOL、スピリチュアリティ。

新聞社勤務中、突然神経難病を発症し死に直面する。全身麻痺となり、半年の入院、2年半のリハビリを経験。これが、「生と死」「いかに生きるか」に向き合う転機となる。1994年社会学研究科(前期課程)修了後、フルブライト留学生として Washington University in St. Louis, School of Social Work 博士課程入学。1999年Ph.D.(博士号)取得。これまで、世界保健機関(WHO)『QOLスピリチュアリティ尺度開発』委員、兵庫県教育委員会『「命の大切さ」を実感させる教育プログラム構想委員会』委員、滋賀県『死生懇話会』委員、大阪市をはじめ複数の自治体で自殺対策審議会委員等を歴任。また教育機関以外にも、病院、高齢者、障がい者施設等でデス・エデュケーションを展開。2024年度、Boston College客員教授(フルブライト研究員)。著書に「死生学とQOL」関西学院大学出版会、共著「増補改訂版 たましいのケア」いのちのことば社、共編著「生命倫理における宗教とスピリチュアリティ」晃洋書房他。

プログラム

10:30~11:30 講演

『生きる意味を問いなおすー死生学の展開ー』

11:40~12:40 パネルディスカッション

『藤井ゼミ卒業生を囲んで』

パネリスト

パネルディスカッションテーマ
『藤井ゼミ卒業生を囲んで』

宮崎 敦子 氏

居宅介護支援事業所
介護支援専門員

2003年藤井ゼミ第一期卒業生。新卒で株式会社UFJカード(現三菱UFJニコス)に総合職で入社。金融を取り扱う中で、自分自身の価値観・大切にしたいことを改めて自覚し、わずか半年で退職。社会福祉士取得後は、知的障害者入所更生施設に勤務。その後、介護職やデイ生活相談員を経て、2024年9月より「淳風とよなか」ケアマネジャー。

長野 知里 氏

生命保険会社
人材育成トレーナー

2007年卒業生。日本生命保険相互会社に入社。保険コンサルティング営業に2年間従事した後、人材の育成・指導を5年間経験。その後、人材育成トレーナーとして、研修やOJTでの職員育成にあたる。『オンライン里親プロジェクト』に里親として参加する等、地域貢献活動にも積極的に取り組んでいる。

安井 優子 氏

上智大学総合人間科学部
特任助教

救急医療・緩和ケア分野で14年間、看護師として従事。緩和ケア医の夫をがんで見取った後、藤井教授を求め人間福祉学部に入學。2015年卒業後、大学院進学。前期課程で東日本大震災の被災者の苦しみ、後期課程で医療ソーシャルワーカーの Spiritual Sensitivity を研究。2023年博士号取得。現在「対人援助のための死生学」を担当。

お申込み
お問合せ

お申し込み方法：QRコードから申し込みフォームにご回答ください

※定員に達し次第、申し込みを締め切らせていただきます。
※会場へ自家用車でのご来場はご遠慮ください。

お問い合わせ先：adec-hws@kwansei.ac.jp

(藤井美和教授受賞記念講演会事務局)

